

上郡町議会議員 / 3期目(無所属)

# 中山たけのぶ

#### 中山たけのぶプロフィール

生年月日 昭和35年7月7日生まれ(56歳)

血液型 A型(いたってまじめです)

星座かに座家族妻、息子4人

趣味 読書、バスケットボール

バドミントン

(上郡町バスケットボール協会副会長)

2011年 上郡町議会議員補欠選挙 当選

2012年 上郡町議会議員選挙 当選 2013年 上郡町議会議員選挙 当選

#### 歴任

- ・副議長(元)
- ・議会改革委員会 副委員長(元)
- ・民生建設委員会 委員(元)
- ・議会運営委員会 副委員長(現)
- ・子ども・子育て支援特別委員会 委員(現)



「上郡はもう、あかん。」 そんな声が、まわりからしていた。 耳の中に入ってしまった砂が動いたときのような気がした。

「このままではいけない。」 そう思い、今から6年前に立ち上がました。 そして、1572名の方々の信託から任期をいただき 上郡町議会議員としての職責をあずかりました。

がむしゃらに上郡のことを考え行動をしてきました。 お叱りをうけることもありました。 しかし、すべては上郡のため。

6年がたち、周りの声が変わりました。 「俺に何ができる?なんでもするで。」 「一緒に上郡を変えていこうや。」 共に町を変えようと動き出してくれている仲間がいます。 自分が歩みを止めるわけにはいかない。

これからも、私は挑戦し続けます。

上郡町議会議員

#### 上郡の現状と未来。さらなる人口減少・・・。

現 在 ●人□ **15,224**人 ●0~14歳の人口

34.3%

●65歳以上の割合

20年後

1,686人

※2015年時点

未来

●人口

11,582人

●0~14歳の人口

923人

●65歳以上の割合

42.0%

※「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成25年3月公表)に基づく推計値

上郡町の人口は、20年前から減少し続けています。最高で1万8千人いた町民も、今や1万5千人を切る状態にあります。将来的には税収入も落ち込み、今ある行政サービスも存続が危ぶまれる状態です。しかし、人口減少は避けられることでは

ありません。人口減少・少子高齢化 という目の前の問題としっかりと向 き合う必要があります。

子供からお年寄りまでが「住みよい町・上郡」の実現のために、地域活性化を主軸に置いた政策提案を続けていきます。

## 地域に活気を!議会に変革を!~負担を先送りしない政治~

#### 課題1. 歯止めの効かない「少子高齢化」の進行

日本全国で少子高齢化が嘆かれて いますが、それは上郡町も例外では ありません。みなさんも記憶に新し いと思いますが、わが町上郡では、 船坂小学校をはじめ、赤松小学校、 鞍居小学校、梨ケ原小学校の4校 が廃校となりました。目に見える形 で少子化が進んでいます。

高齢化も大きな問題です。高齢化 は結局のところ、お年寄りを支える 現役世代の減少を意味します。しっ かりとお年寄りの方々を支えていく 制度が必要とされています。

※上郡町統計資料より

	総人口(A)	高齢人数(B)	高齢化率(B/A)	特殊出産率
平成7年	18,849	3,523	18.69%	1.67%
平成12年	18,419	3,978	21.60%	1.40%
平成17年	17,603	4,261	24.21%	1.50%
平成24年	16,636	4,710	28.31%	1.22%

#### 課題2. 将来世代への非常に大きな負担

上郡町の財政状況はほかの兵庫県 下の市町と比べ非常に厳しい状態で す。

「実質公債費比率」とは借金等の 返済に税金などの一般財源がどの程 度使われてしまっているかを見るた めの指標です。一般的に15%を超 えると「警戒ライン」と言われてい ます。比率でいうと上郡町は県下で 2番目に高く、非常に危ぶまれてい ます。

「将来負担比率」は、将来支払っ ていく可能性のある負担等の現時点 での残高を指標化し、将来、財政を 圧迫する可能性の度合いを示す指標 です。県下では最も高い比率となっ ており、将来世代への負担が危ぶま れています。 ※兵庫県市町村振興協会より

平成27年度	実質公債費比率	将来負担比率
上郡町	18.5%	228.5%
県内平均	8.5%	62.1%
全国平均	7.4%	38.9%

### 中山たけのぶの目指す「住みよい町・上郡」の実現のため

人口減少と少子高齢化は避けられ ないことと私は言いました。これは 決して「あきらめよう」ということ ではありません。「受け入れた上で 私たちにできることを考えていきま しょう! | ということです。

これらの課題に対して、私たちは 立ち向かっていかなければ、将来の 世代に「上郡」を残すことはできま せん。これは今ある私たちの宿命で あり、将来世代への責任です。

将来世代へ決して負担の先送りを しない。そして、現役世代みんなで お年寄りの方々を支えていく。そん な当たり前の姿を私は目指していま

そのために右の2つに基づいて、 私は政策を提案し続けます。

#### ①地域に活気を!

現役世代がお年寄りの方がを支 えていくためには、まずは現役世 代が活気が必要です。そのために は町に活気が必要であり、地域に 活気が必要です。

今ある、文化(お祭りなど)やモ ノ(旧小学校など)をしっかりと活 かし、盛り上げていくべきです。



#### 2議会に変革を!

非常に厳しい財政状況にある上 郡だからこそ、議会の行政に対す るチェック機能がたいへん重要で

必要な議論を時間をかけ、誰も が納得いく答えを出す。そして行 政に対して是々非々の姿勢をとっ ていける議会であるべきです。



### お気軽にご連絡ください!



中山の貸し出し

ご連絡いただきましたら、日程を調整の 上お伺いいたします。町政に対する疑問 から小さなことでもかまいません。

「政治なんて誰がやっても同じ」と諦め る前に、まずはご連絡ください。



nakayama.t0707@gmail.com

発行元:中山たけのぶ後援会